

平成29年度天然記念物オオダイガハラサンショウウオ 現地学習会を大杉谷国有林で開催しました

7月11日に平成21年度から通算9回目となる「天然記念物オオダイガハラサンショウウオ現地学習会」を多気郡大台町大杉谷国有林で開催しました。

この学習会は三重県の天然記念物に指定されているオオダイガハラサンショウウオの保護を目的に関係機関(三重県農林水産部、三重県教育委員会事務局、三重森林管理署の共同主催)が協働で生態等に関する知識の向上を図るために、毎年7月頃に実施しています。

今回の学習会では、オオダイガハラサンショウウオの生息地である奈良県、和歌山県、両県の担当者にも参加して頂き、県、町、署の関係者26名が参加しました。

最初に三重県教育委員会事務局から「生息地での公共事業に係る調整手順と許可申請の手続」等について話があり、生息地に移動して清水善吉氏(三重県文化財保護指導員)の指導の下、生息調査を行いました。

生息調査では、幼体44匹、亜成体1匹の生息が確認できました。残念ながら成体の確認はできませんでしたが、繁殖していることを確認できました。昨年の確認生息数10匹と比較すると今年の確認数は多く、昨年から現在までに生息地の河川の氾濫等生息環境に与える影響が少なかったのではないかと意見がありました。

三重森林管理署としては、今後とも職員が貴重な動植物についての知識を習得するとともに、関係機関と連携を密にし、大杉谷国有林の豊かな森林と自然環境の保全に取り組んでいきます。



清水氏による講話(↑)



捕獲の様子 (↑)



幼体 (↑)



亜成体 (↑)



測定の様子
(←)